永代橋八景

永橋暮山集

寄別
53
別圖
13
12

国立国会図書館　タイトル『永代橋八景』　請求記号 寄別13-12

ガラス使用

53

永代橋八景

国立国会図書館　タイトル『永代橋八景』 請求記号 寄別13-12

ガラス使用

永田文庫

永代橋八景自序

海東別有都号武陽于茲有一帶大河名浅草川清水漲碧白浪蕩玉群船遊魚活潑于清波此川也長橋有三至川末直跨長空号永代此橋也通天挿雲朝暮來往為螻蟻春夏遊人抗欄干矣橋頭之風景也水村山海燦然滿

大正 12. 4. 25 購求

国立国会図書館　タイトル『永代橋八景』　請求記号　寄別13-12
ガラス使用

一目之中予一日扶藜一回
乘興遊橋邊終日凝於寸眸
無盡之景開於吟胸無邊之
興多景之中探其八景謾詠
詩歌而解禪餘之睡夢云爾

元禄十二歳次己卯仲秋日
寓白雲性養山和南書

士峯積雪

天晴獨露士峰面超越群山
勢似瞞積雪千秋千歳頂教
人毛骨凛然寒

永代をもてはれそめし毛白雲の
姉しのこら根もアルの橋ゝれ

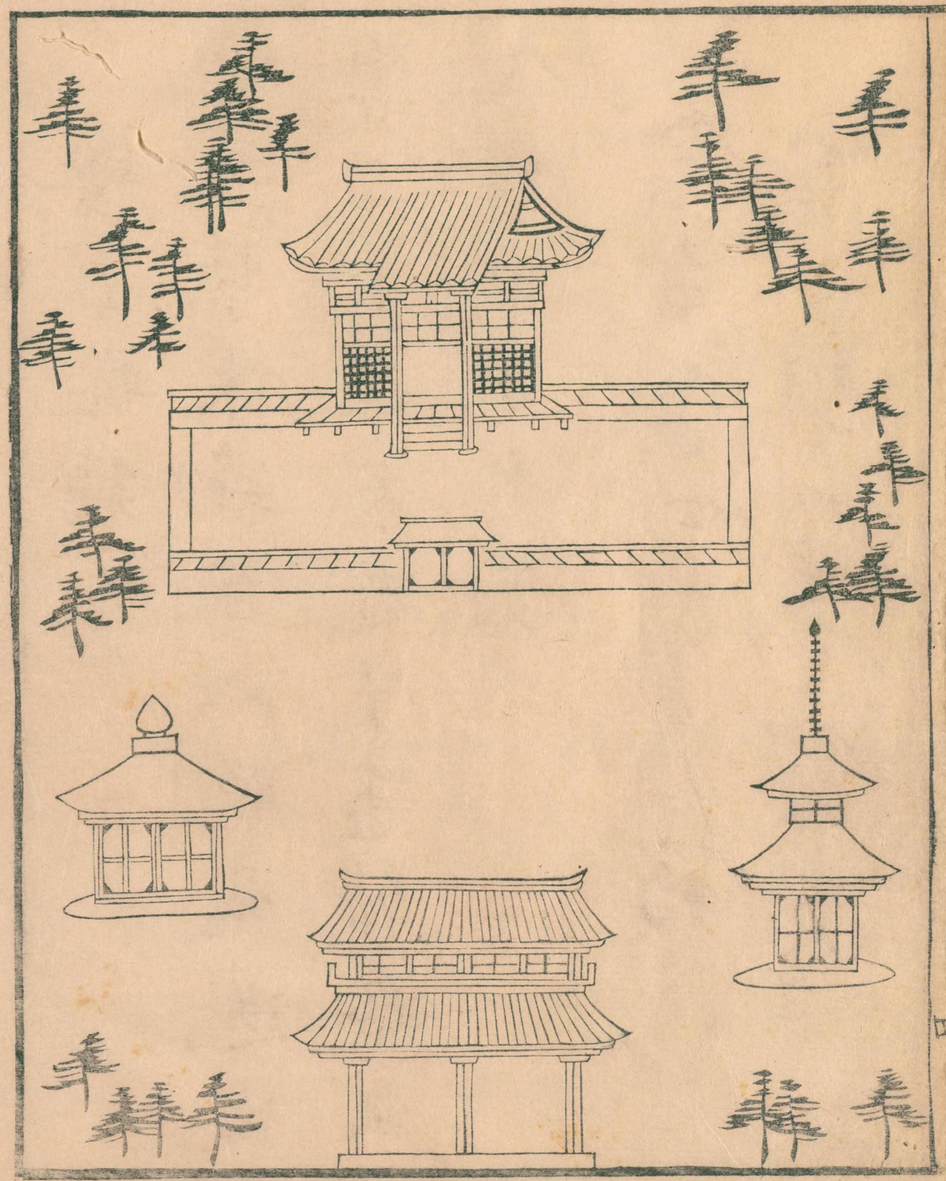
大橋夕照

百尺ノ梁橋跨(マタガリ)ン碧空ニ清波緑水
起(ス)ル涼風夕陽落(ル)處吐(キ)光彩(ヲ)氣
勢却テ疑フ万丈ノ虹(カト)

東叡晴嵐

山籠暖霞兼暖煙晴嵐影裏
景光圓張絲縱有畫師譽何
下筆頭東叡巓

雲霧色あらしそれとも鶴の山
はきらねはのまやさに宣ぬ



増上晩鐘

増上寺林鐘百八晩風送出
響三千往来遊子急歸路永
代橋中足東天

於ぼきうさ世かんことは敷そんと
よりになわりしく入れの鐘

国立国会図書館　タイトル『永代橋八景』 請求記号 寄別13-12
ガラス使用

佃田落鴈

獨立橋邊對佃田汀沙鴈落

字疑連漁舟不繫人不到飲

啄自由自在眠

さ紀立といはゆく鴈の洗はれや

佃りたつるあるさ此夕雪

国立国会図書館　タイトル『永代橋八景』 請求記号 寄別13-12
ガラス使用

深浦歸帆

橋邊扶杖望深浦無數片帆
泛龍鱗風止潮枯江海暮
知葉ヒ歸何津

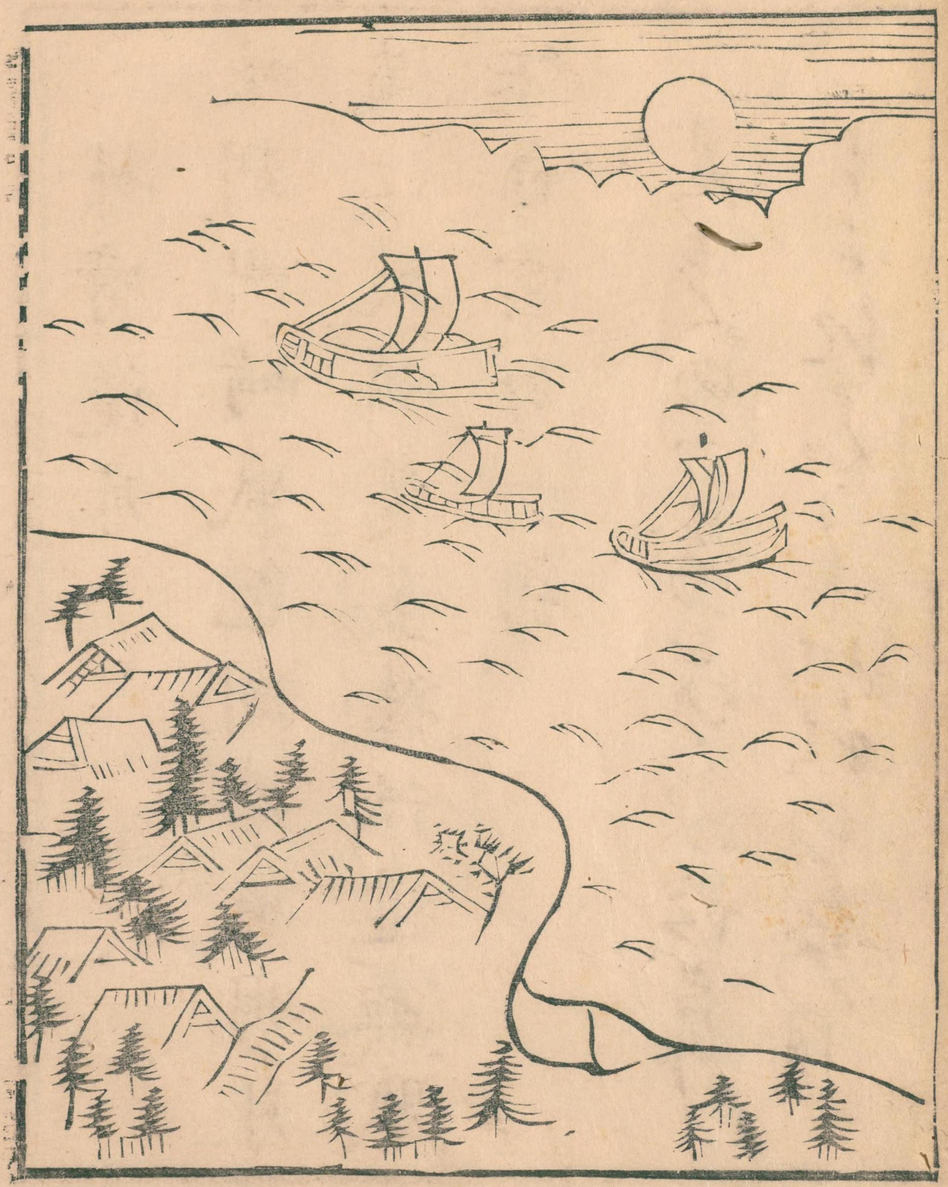
国立国会図書館　タイトル『永代橋八景』　請求記号　寄別13-12

ガラス使用

洲崎ノ龜月

秋ハ到テ洲崎風色圓カリ清風明月
満ツ江天ニ詩囊多ク繙ヒボトキ無邊ノ興ニ賦フシ
作ス自雲ノ句一篇

凡そ人のあらゆるの次語をなし
もさしれなんこれ秋の龜月



国立国会図書館　タイトル『永代橋八景』 請求記号 寄別13-12
ガラス使用

品川夜雨

旅里元雖非瀟湘瀟然夜雨
教人殤滴聲驚夢品川宿鐵
作心肝聞斷腸

猿[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『永代橋八景』 請求記号 寄別13-12
ガラス使用

抜

有詩客扣予茅菴告曰此間探永代橋之八景而漸考艸成予吟窓下閲之則詩吟歌詠曲調戛然客曰請予作抜於是不獲固辭忘孤陋黽勉從事矣至其闕漏則暫俟来哲焉

国立国会図書館　タイトル『永代橋八景』　請求記号 寄別13-12
ガラス使用

り
寄別
53

深川蕉牧子拾白雲菴書

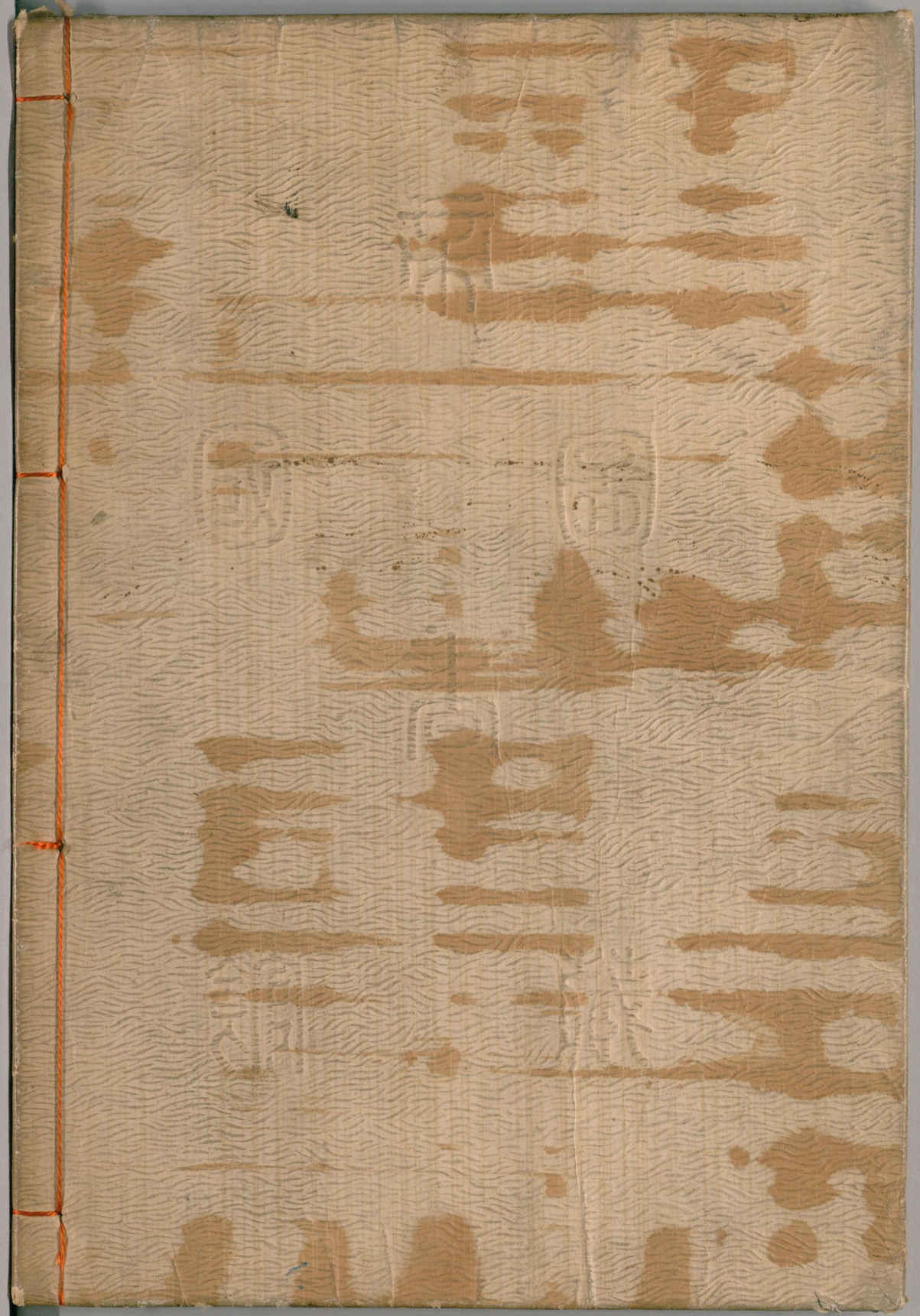
江戸吉川町書林
村上三郎兵衛

国立国会図書館　タイトル『永代橋八景』　請求記号 寄別13-12
ガラス使用

り
寄別
53

国立国会図書館　タイトル『永代橋八景』 請求記号 寄別13-12

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『永代橋八景』　請求記号　寄別13-12

ガラス使用